



福島市
FUKUSHIMA CITY

令和2年度

10月補正予算（第7号）主な補正内容

1. 新型コロナウイルス関連 緊急支援策（第七弾）
2. 福島駅前賑わい創出事業（旧中合利活用事業）
3. 防災情報配信システム整備

補正予算額（一般会計）

4億6,015万円

単位:千円

事業費 合計	財源内訳			
	国	県	その他	一般財源
460,150	30,034	19,000	79,000	332,116

【参考】予算累計額（一般会計）

1,535億3,761万円（対前年22.8%増）

第七弾【10/15発表】

新型コロナウイルスの感染防止と社会経済活動の回復の両立を図るため、1. 感染防止対策、2. 市民生活支援、3. 地域経済対策、4. 「新しい生活様式」に対応した社会の形成の4本の柱を軸に、これまで6度にわたる緊急支援策を実施してきました。

今回の第七弾では、冬季に向けた医療体制強化策として、インフルエンザとの同時流行防止や一般医療機関での検査体制の拡充を図ります。

また、市、国、県等が現在実施している様々な支援策の内容をプッシュ型でお知らせし、積極利用を促すことで経済の活性化を図るなど、新型コロナウイルスが共存する環境の中、抵抗力の強い新しい社会の構築を目指します。

緊急支援策第七弾 予算額(一般会計)

10事業

単位:千円

事業費 合計	財源内訳			
	国	県	その他	一般財源
347,150	30,034	5,000	—	312,116

新型コロナウイルス関連 緊急支援策【第七弾】

支援策	時期	第一弾(3/23)	第二弾(4/9)	第三弾(4/22)
第1の柱 感染防止対策		<ul style="list-style-type: none"> ●保育所等へ不織布マスク・消毒液等の購入支援、または配布 ※小中学校への備蓄マスク 2万枚の配布 (3/27) 	<ul style="list-style-type: none"> ●地域でマスクをつくって、学校応援プロジェクト 	<ul style="list-style-type: none"> ●医療機関への特別給付金の給付 ●医療資材の提供 ●PCR検査体制の強化 ●母子生活支援施設の感染症対策に係る改修費用の補助 ほか
	第2の柱 市民生活支援	<ul style="list-style-type: none"> ●放課後児童クラブの運営費補助 ※保育料の減額(3/4) ※相談専用電話の設置(2/5) ※帰国者・接触者相談センターの設置(2/7) ※救急車全13台にウイルス活動を抑制するオゾン発生装置の設置(3/16以降順次) 	<ul style="list-style-type: none"> ※ICT教材を活用した学習支援(4/13以降随時更新) ※本庁1階に市独自の生活相談案内窓口の設置(4/17) 	<ul style="list-style-type: none"> ●特別定額給付金等の早期支給 ●市営住宅の入居支援 ●内定取消学生等に対する就職支援 ●児童生徒の学習支援の強化 ●放課後児童クラブの運営費補助 ●患者等への相談体制の強化 ほか
第3の柱 地域経済対策				
①事業者 緊急支援		<ul style="list-style-type: none"> ●信用保証料補助・利子補給 ●ピンチをチャンスにプロジェクト 	<ul style="list-style-type: none"> ●福島エールごはんプロジェクト ●旅館業への温泉使用料・水道料金の減免 	<ul style="list-style-type: none"> ●テナント飲食店舗への賃料の補助 ●自己所有飲食店舗への補助 ●市場使用料等の納付猶予
②地域経済 回復				

※印:発表期間前後に実施(決定)したもの

新型コロナウイルス関連 緊急支援策【第七弾】

支援策 \ 時期	第四弾(5/21)	第五弾 (6/22)・(7/27)
第1の柱 感染防止対策	<ul style="list-style-type: none"> ●第2波を想定した医療体制の充実 ●産後ケア事業を行う施設への衛生用品等の支援 ●ごみ収集事業者への衛生用品の支援 	<ul style="list-style-type: none"> ●ICT導入による市内保育施設・幼稚園の「新しい生活様式」への対応支援 ●市有施設の感染防止対策の徹底 ●保育施設・幼稚園等の感染防止対策充実 ●(子どもたちの学びの保障) 小・中・養護学校の感染防止対策充実 ●避難所における感染防止対策の強化
第2の柱 市民生活支援	<ul style="list-style-type: none"> ●ふくしま市民生活エールクーポン ●学生の臨時就労機会の創出 ●認可外保育施設利用者の支援 ●子ども食堂の支援 ●情報発信の強化 	<ul style="list-style-type: none"> ●妊婦のPCR検査体制の整備 ●妊産婦へのオンライン保健相談会実施 ●ひとり親世帯への臨時特別給付金早期支給 ●住居確保給付金の追加 ●赤ちゃん応援特別定額給付金の支給 ●(子どもたちの学びの保障) 小・中・養護学校の感染防止対策充実(再掲)
第3の柱 地域経済対策		
①事業者緊急支援	<ul style="list-style-type: none"> ●国給付金対象未満の事業者等への支援 ●公共交通事業者への支援 ●市場使用料の減免 ●就職活動マッチングの支援 	<ul style="list-style-type: none"> ●中心市街地へのテナント進出支援 ●信用保証料補助・利子補給の追加 ●障がい者就労継続支援事業所の事業継続支援
②地域経済回復	<ul style="list-style-type: none"> ●新しい生活様式に対応したビジネスモデル創出への支援 ●イベント開催等を通じたにぎわいの回復 <p>※県民限定宿泊割引を活用した誘客(サクランボ狩り助成)(6/15)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●GoToキャンペーンを見据えた観光プロモーションの強化 ●古閑裕而記念館の受け入れ態勢強化 <p>※「新しい生活様式」に対応した文化・スポーツイベントや会議の会場費用支援(7/2)</p>

※印:発表期間前後に実施(決定)したもの

新型コロナウイルス関連 緊急支援策【第七弾】

支援策	時期	第六弾(8/25)	第七弾(10/15)
第1の柱 感染防止対策		<ul style="list-style-type: none"> ●高齢者入居施設の感染拡大防止のための改修費用の補助 	<ul style="list-style-type: none"> ●インフルエンザとの同時流行防止対策 ●一般医療機関における検査体制の拡充 ●小・中・養護学校の感染防止対策費用の追加 ●救急活動の感染防止対策費用の追加
第2の柱 市民生活支援		<ul style="list-style-type: none"> ●(子どもたちの学びの保障)校外活動実施の支援 	<ul style="list-style-type: none"> ●新型コロナウイルス関連支援策の利用促進
第3の柱 地域経済対策			
①事業者緊急支援		<ul style="list-style-type: none"> ●地域公共交通(鉄道)事業者への支援 	<ul style="list-style-type: none"> ●中心市街地へのテナント進出の支援
②地域経済回復		<ul style="list-style-type: none"> ※「新しい生活様式」に対応した結婚式披露宴の会場費用支援(9/18) 	<ul style="list-style-type: none"> ●新型コロナウイルス関連支援策の利用促進(再掲)
第4の柱「新しい生活様式」 に対応した社会の形成		<ul style="list-style-type: none"> ●窓口キャッシュレス決済の導入 ●庁内Wi-fi環境整備 	<ul style="list-style-type: none"> ●シェアサイクルの導入 ●電子町内会モデル事業 ●「ゆとり満喫福島オフィス」開設支援

※印:発表期間前後に実施(決定)したもの

新型コロナウイルス関連 緊急支援策【第七弾】

これまでの経過

第1弾（3月23日発表:3月23日議決） 不織布マスク等の購入支援、ピンチをチャンスにプロジェクト、信用保証料補助 など	3億9,600万円 (一般財源 2億1,000万円)
第2弾（4月9日発表:予備費充用） 地域でマスクを作って学校応援プロジェクト、旅館業への温泉使用料・水道料金の減免 など	1,800万円 (一般財源 1,800万円)
第3弾（4月22日発表:4月30日議決） 医療機関への特別給付金の給付、医療資材の提供、特別定額給付金の早期支給 など	294億6,500万円 (一般財源 5億3,100万円)
第4弾（5月22日発表:6月1日議決） ふくしま市民生活エールクーポン、新しい生活様式に対応したビジネスモデル創出支援 など	40億500万円 (一般財源 12億3,200万円)
第5弾（6月22日発表:6月30日議決） ICT導入による市内保育施設・幼稚園の「新しい生活様式」への対応支援 など	8億2,700万円 (一般財源 3億8,800万円)
第5弾追加（7月27日発表:7月31日議決） 保育施設・幼稚園等の感染防止対策充実、学校の感染防止対策充実 など	5億3,000万円 (一般財源 2億6,100万円)
第6弾（8月25日発表:9月18日議決） 庁舎窓口キャッシュレス決済の導入、庁内Wi-fi環境の整備 など	1億1,400万円 (一般財源 8,500万円)
第7弾（10月15日発表） 冬季に向けた医療体制の充実、中心市街地へのテナント進出支援、シェアサイクルの導入、電子町内会モデル事業、「ゆとり満喫福島オフィス」開設支援 など	3億4,700万円 (一般財源 3億1,200万円)
緊急支援策 累計額	357億200万円 (一般財源 30億3,700万円)

第1の柱 感染防止対策 4事業 254,800千円

(1) インフルエンザとの同時流行防止対策【市独自】 事業費:180,000千円

新型コロナウイルス感染症とインフルエンザの同時流行を回避し、冬季の医療供給体制の安定を図るため、これまで実施してきた高齢者向けの助成に加え、こどもと妊婦、医療機関、学校や福祉施設等に従事する職員のインフルエンザ予防接種費用を助成します。

(対象)

- A: 生後6カ月～18歳までの子ども、妊婦
実施医療機関の窓口で市の助成金(2,500円/1回)を差し引いた金額で接種可能
(1回あたり自己負担1,500円程度)
- B: 学校、保育施設、福祉施設等に勤務する方、障がい者施設に入所する方
各施設ごとに助成(接種者1人あたり2,000円)
- C: 医療機関
施設規模に応じて助成



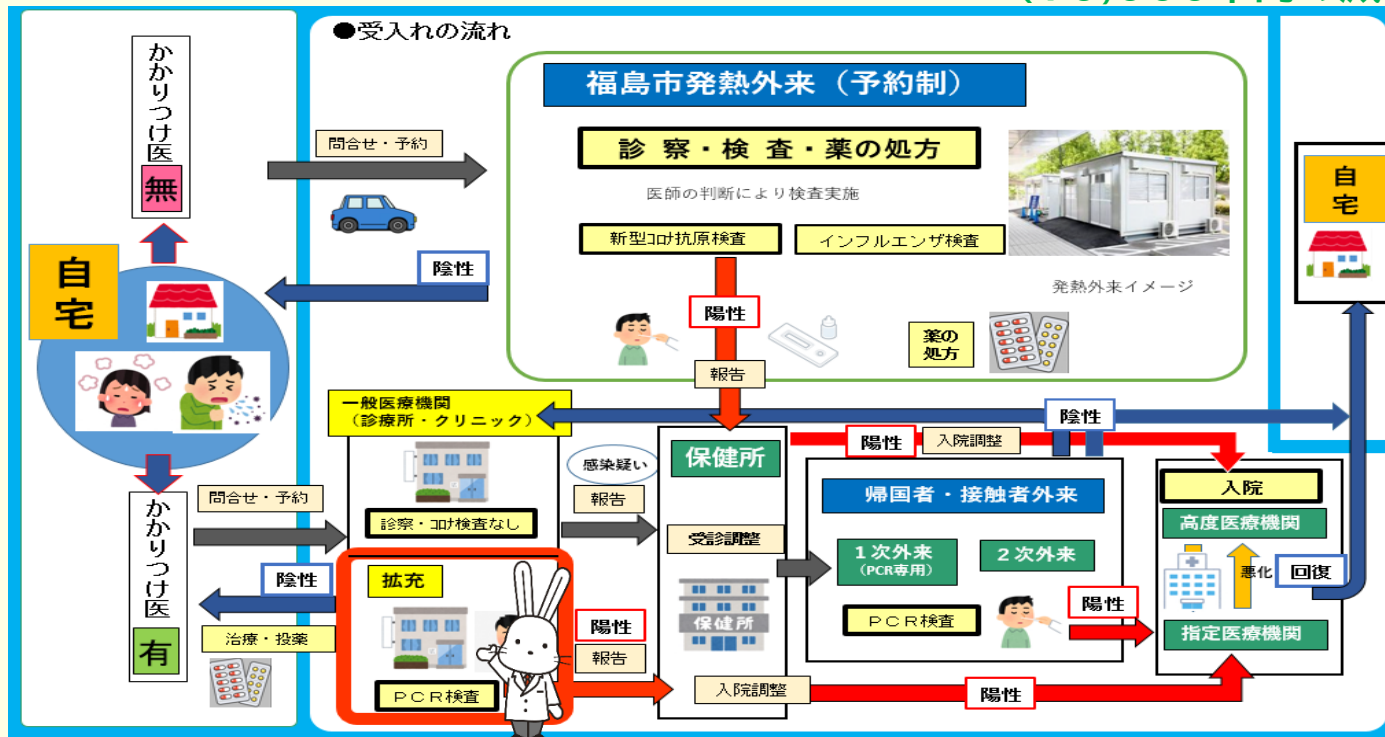
新型コロナウイルス関連 緊急支援策【第七弾】

(2) 一般医療機関における検査体制の拡充

今回、新たな強化策として、発熱時に一般医療機関(かかりつけ医)で診察を受けられるよう、新型コロナウイルス感染症にかかるPCR検査や抗原検査を実施できる一般医療機関の拡充を図り、医療体制の安定を目指します。【市独自】事業費:117,800千円

なお、医療機関への給付金、PCR検査専門外来・発熱外来の設置、医療機関への医療資材提供等4月からいち早く医療体制の強化策を実施してきましたが、診療報酬の改定を踏まえ、医療機関向けの特別給付金については10月末をもって終了します。

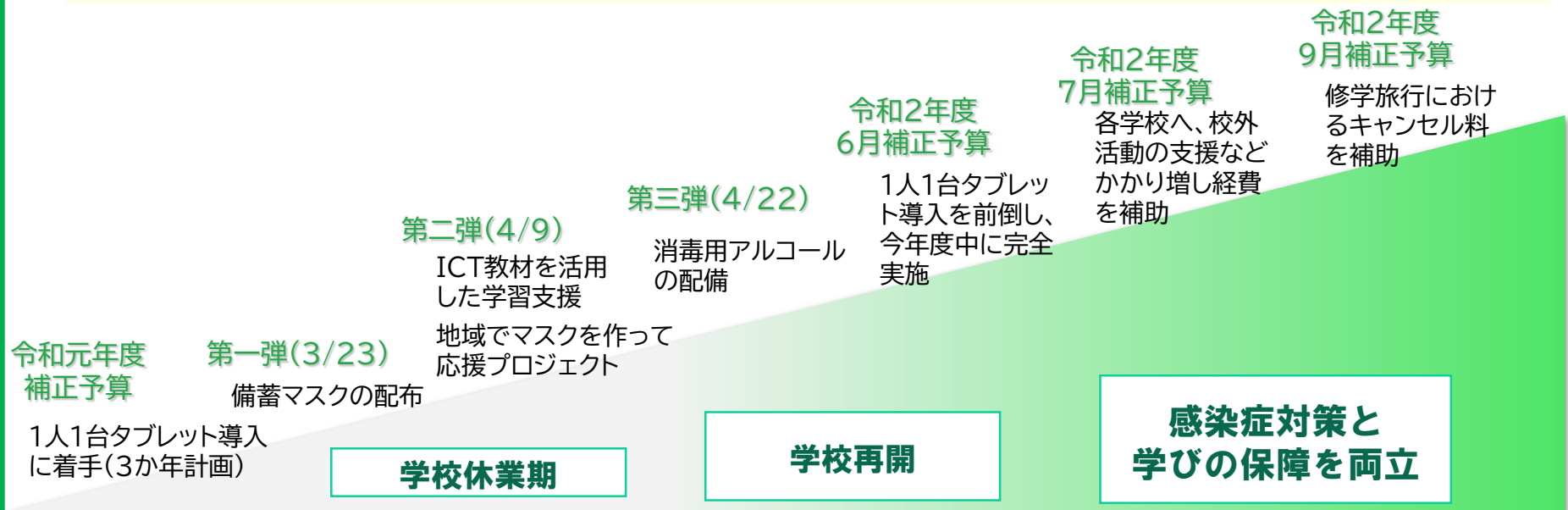
(70,000千円の減額補正)



(3)(子どもたちの学びの保障)

小・中・養護学校の感染防止対策(追加)【市独自】 事業費:18,000千円

秋以降の新型コロナウイルス感染症の増加に備え、衛生用品購入費用を追加します。
(第一弾3/23、第二弾4/9、第三弾4/22に、第五弾7/27、第六弾8/25続く6回目)



(4)救急活動の感染防止対策【市独自】 事業費:9,000千円

秋以降の新型コロナウイルス感染症の増加に備え、感染防止対策費用を追加します。

第2の柱 市民生活支援 1事業 6,800千円

(1)各種支援制度の利用促進【市独自】事業費:6,800千円

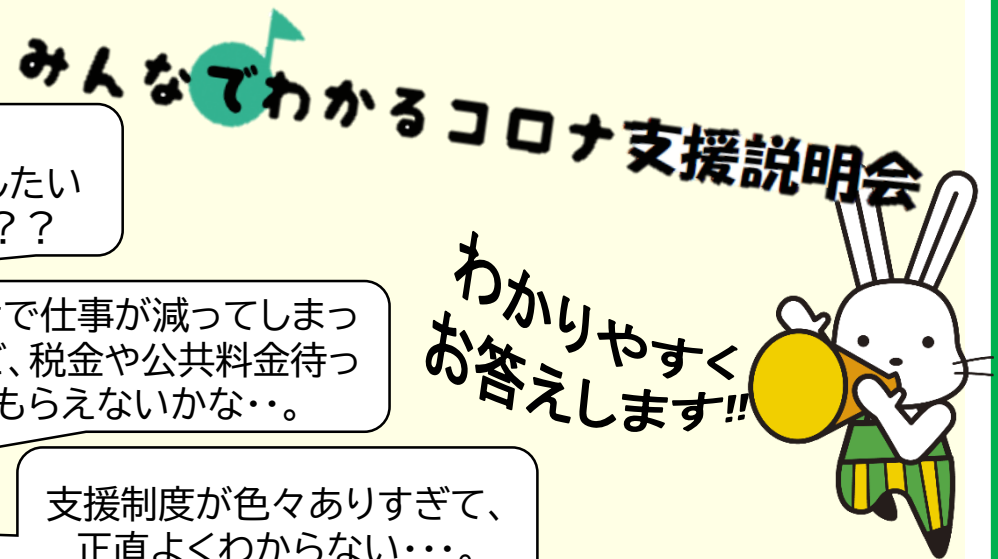
市、国、県において様々な新型コロナウイルス関連の緊急支援策が実施される中、支援策の内容を市民・事業者の皆さまによりわかりやすくお知らせし、日常の買い物やリフレッシュ、事業の設備投資などにお役立ていただくとともに、市内で積極的にご利用いただくことで、地域経済の活性化を図ります。

(実施方法)

町内会等へ「支援策利用促進アドバイザー」が直接出向き(Push型)、出張説明会を開催します。(会場は支所、学習センター、集会所などを予定)

(実施時期)

11月上旬～12月下旬



コロナ対策で、
広い面積の店に移転したい
けど、何か支援策は??

エールクーポンって..
どこで買える?
いつまで使える?

コロナで仕事が減ってしまっ
たけど、税金や公共料金待っ
てもらえないかな..。

GoToキャンペーンって..
どうすれば使える?

支援制度が色々ありすぎて、
正直よくわからない..。

第3の柱 地域経済対策 2事業 50,000千円

事業者緊急支援

(1)中心市街地へのテナント進出支援

①リノベーション費用補助【市独自】 事業費:40,000千円(補正後:90,000千円)

中合福島店の営業終了や「新しい生活様式」への対応のため、中心市街地の空き店舗に進出する事業者に対し、空き店舗リノベーション費用の2/3、最大200万円を補助します。

今回は、前回(第5弾:6月発表)から拡充して、什器備品購入費、移転引っ越し費用、賃貸物件における礼金、仲介手数料、及び広告費用を対象経費に追加し、新型コロナウイルスの影響により増加が懸念される中心市街地の空き店舗の解消を目指します。

(20件分追加)

②店舗家賃補助 事業費:10,000千円(補正後:50,000千円)

リノベーション費用に合わせ、中心市街地の空き店舗に移転したテナントに対し、県との協調補助制度により家賃を3年間補助します。(20件分追加)

	1年目		2年目	3年目
	R3. 3月まで	R3. 4月以降		
補助率	5/6	2/3	1/2	1/3

(毎月の賃料30万円上限)

第4の柱 「新しい生活様式」に対応した社会の形成

3事業 35,550千円

(1)シェアサイクルの導入【市独自】 事業費:25,000千円

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点、キャッシュレス社会への対応、市民サービスの利便性向上にむけ、既存の「ももりんレンタサイクル」のサービス内容(有人窓口貸出)を、IOT(スマホ)を活用した無人貸出へ変更するとともに、既存の自転車も電動アシスト付自転車に一新し、キャッシュレス(無人化)でのシェアサイクルを促進します。

(R3.4月下旬から新サービス開始予定)

(イメージ)

スマホで24時間貸出・返却可能



(2)電子町内会モデル事業【市独自】 事業費:550千円

市から紙でお届けしている通知文書や回覧文書について、希望する町内会に対してメールを利用して連絡し、緊急性の高い情報を速やかにお届けします。

また、必要に応じてICTアドバイザーを派遣し、機器類の操作方法や活用方法の相談に応じ、ICTを活用した町内会活動を支援します。

(3)「ゆとり満喫福島オフィス」開設支援 【市独自】 事業費:10,000千円

新型コロナウイルスの感染拡大により、首都圏等の企業における本社機能の地方移転やテレワークを導入する機運の高まりを受け、温泉・農業・くだものが満喫できる「ゆとり満喫福島オフィス」の開設支援を行い、首都圏等からのオフィス移転や移住・定住を促進します。

○コロナ禍でテレワーク増



○都心オフィスの密集回避



○地方移住を含めたワーク・ライフバランスに対する需要増



この機を逃さず
福島市へ誘導

新 「ゆとり満喫福島オフィス」 開設支援補助金

【本社機能全部移転支援】

- 改修費
- 設備購入費

【オフィス開設支援】

- 交通費
- 移転費

【ゆとり満喫
エールパスポート】

- ✈️ 転入支援
- 👨‍👩‍👧‍👦 家族引越し支援
- 🏡 農業満喫
- ♨️ 温泉満喫
- 🍏 果物満喫

本市既存
優遇制度

○オフィス等賃借助成金

- 【対象者】特定集積産業
- 【対象経費】操業開始から3年分の家賃
- 【補助率】1/2(上限6,000千円)

チャレンジフィールド

※サテライトオフィス開設の改修等に対する支援は県が実施中

(湯めぐりパスポート)



(わいわい市民農園)



(くだものの木オーナー)



その他 補正予算額（一般会計）

1億1,300万円

2事業

単位:千円

事業費 合計	財源内訳			
	国	県	その他	一般財源
113,000	—	14,000	79,000	20,000

1. 福島駅前にぎわい創出事業

補正額 34,000千円

8月31日で営業終了した旧中合福島店が入居していた辰巳屋ビルの1・2階部分について、
①1階は商業スペースとして活用し、地域の農産物や特産品などの販売や、食品・日用品も扱うスーパーマーケットとして、入居する民間事業者を支援し、
②2階は交流・展示スペースとして、古関裕而氏ゆかりの展示や、地域の観光の魅力を発信、また学生が集い交流し、活動する場として活用し、福島駅前の賑わい創出を図ります。

(スケジュール)

令和2年

令和4年



改修・準備

令和2年12月 オープン

営業終了・
再開発ビル建設へ向け解体



2. 防災情報配信システム整備

防災情報の確実な伝達を図るために整備中の屋外スピーカーについて、令和元年台風19号の被害区域に加え、今年度完成した内水ハザードマップにより明らかとなった過去10年間の浸水箇所等を追加し、屋外における情報伝達機能を強化します。

(令和3年6月中に配備予定)

(イメージ)

当初17カ所(想定浸水深3m以上)



27カ所に拡充して整備

(想定浸水深3m以上)

+

(過去10年の浸水区域等)



補正額 79,000千円

